

# 平成27年度 県土整備部環境配慮事例報告書

# 写真等

事業主管課	河川整備課
実施機関	東部県土整備局(徳島)

【事業の概要】

事業の種類	河川・ダム等の整備	河川事業
事業箇所名	徳島市	
事業の規模・状況	7.5 km	小規模事業a 施工段階

【事業の目的及び概要】  
 本事業地区では、無堤地区の浸水被害や既設堤防の漏水被害が度々発生しているため、早期に治水安全度を確保するため河川改修事業を実施している。

【実施した環境要素の一覧及びRDBの有無, モニタリングの要否】

大気	環境	水環境	地形・地質等	生物多様性	景観	自然とのふれあい	文化財	廃棄物	温室効果ガス等	RDB種の有無	モニタリングの要否
				○						○	○

【特に配慮した環境要素と実施事項】  
 河川工事に伴う事前の植物調査において、コカモメヅル(徳島県版レッドデータブック:絶滅危惧Ⅱ類)の生育を確認した。そのため、環境アドバイザーの助言のもと、今年度工事予定区間に生育しているコカモメヅルの個体を対象に、工事が完了した下流区間への移植を行った。移植に関して、コカモメヅルが好む生育地点を選定した後、移植個体に対するリスクを分散させることを目的に、10m程度の間隔で4株を移植した。

【目標に対する達成状況】  
 河川工事の影響によるコカモメヅルの消失を事前に回避し、重要植物への影響を可能な限り低減できた。

【実施事項に対する評価】

実施者	今後は、移植したコカモメヅルの生育状況についてモニタリング調査を実施し、必要に応じて対応措置を検討する。モニタリング調査より得られたコカモメヅルの移植の知見をまとめ、以降の環境保全措置に活用していく。
-----	--

①移植前の状況	②移植作業状況
コカモメヅル 	作業手順一覧 